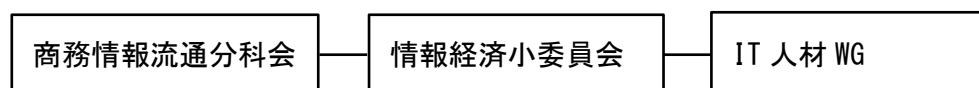


産業構造審議会 商務流通情報分科会 情報経済小委員会
IT 人材ワーキンググループの設置の趣旨等について

平成 27 年 1 月
商務情報政策局
情報処理振興課

1. 設置の趣旨

産業構造審議会情報経済小委員会の議論を受けて、今後の IoT (Internet of Things) 時代において必要とされる IT 人材像及び当該人材の確保・育成の方向性等について検討を行うため、同小委員会の下に「IT 人材ワーキンググループ (WG)」を設置する。



2. 検討の背景

2000 年以降のインターネットの広範な普及、2010 年頃以降のスマートフォンの普及の後、2020 年頃には、モノとモノ (Machine to Machine) がつながり、新たなビジネスが創出される IoT 時代となることが予想されている。

欧米では、IoT 時代を睨んで、インダストリー 4.0 などモノづくり産業における IT を活用したオープンなプラットフォームづくりが進みつつある。

国内では、もの作り産業等 IT のユーザ企業において IT の活用による攻めの経営が求められるとともに、IT 企業においては、情報システム産業における従来のビジネスモデルの転換や、IT サービスに革新をもたらす IT ベンチャーの起業の増加が求められているところ。

他方、政府におけるマイナンバー導入のためのシステム開発や金融機関の大型システム開発のピークが 2015 年に到来し、目下、受託開発型の IT 人材不足が叫ばれているとともに、今後は、2020 年東京オリンピック・パラリンピック開催に向けて、情報セキュリティ人材不足が指摘されている。

このような状況を踏まえ、当面の IT 人材需要への対応とともに、我が国産業全体の中長期的な成長・活性化を実現していくため、ユーザ企業等の IT 人材の確保・育成が必要である。

3. 検討内容

2020年の東京オリンピック・パラリンピック開催に向けた情報セキュリティ対策強化等のための人材確保方策とともに、2020年以降のIoT時代を見据えたIT人材確保・育成の方向性について検討を行う。

(具体的な検討内容)

- ① 2020年時点で不足すると見込まれるIT人材数(推定)
- ② 2020年時点におけるIT人材の確保のための方策(例;スキルシフト、研修等による労働移動促進、労働環境の改善、女性・外国人等の活用等)
- ③ 今後のIoT時代(2020年～2030年頃)に必要なとされるIT人材の確保・育成の方向性(本年秋以降に、継続して具体策を検討予定)

4. 当面のスケジュール(案)

平成27年1月22日 第1回WG開催
(論点提示、自由討議)

2月下旬～3月上旬 第2回WG開催
(2020年時点で不足するIT人材の確保方策について①)

4月上旬～中旬 第3回WG開催
(2020年時点で不足するIT人材の確保方策について②、IoT時代のIT人材の確保・育成方策について①)

5月中旬 第4回WG開催
(IoT時代のIT人材の確保・育成方策について②、
中間とりまとめ骨子案)

6月前半 第5回WG開催(中間とりまとめ)